

赤ちゃんから高齢者まで やさしさとかかりやすさをめざして

公益社団法人 北海道勤労者医療協会
勤医協札幌病院

広報誌

Vol.
2016.11

18



手術室

看護師長
豊吉 睦子

手術部長
林 泉

用務
井澤 良恵

看護師
川股 由季

看護師
篠原 素子

准看護師
斉藤 和恵

看護師
仲島 一恵

用務
山岸 香

地域に根ざし、地域に役立ち、地域と共に歩む病院であり続けるために

日常病の手術治療を 身近で提供する勤医協札幌病院

体への負担とリスクを最小限にする体制と取り組み

- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 産婦人科
- 手術室
- 無料・低額診療制度のご案内

地域に根ざし、地域に役立ち、地域と共に歩む病院であり続けるために

日常病の手術治療を 身近で提供する勤医協札幌病院

体への負担とリスクを最小限にする体制と取り組み

勤医協札幌病院には総合診療医による内科のほか、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科など10診療科目と15の専門外来があります。病床数は105床で、年間の手術件数は約1000件。日常的に頻度が高い疾患の治療を中心に、地域の住民の身近に存在する病院です。困難な手術は連携先の医療機関に迅速に依頼するなど、患者さんにとって最適な医療の提供に取り組んでいます。



誰もが安心して治療を受けられるためのサポート

- 無料・低額診療制度
- 入院助産制度
※経済的困難を抱えている妊産婦対象
- 手話通訳
- 帝王切開術の家族立ち合い
- 英語通訳

チームで支える 安全重視の手術治療

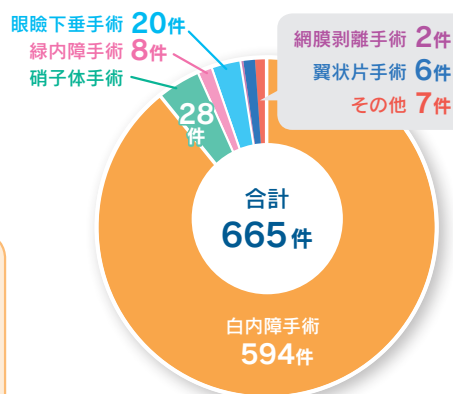
勤医協札幌病院の手術治療は主に、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科などの日常病を対象に行われています。手術手技に熟練している専門医が執刀医となり、麻酔科医、手術室看護師、中央材料室スタッフとのチーム医療体制を整え、年間約1000件の手術を実施しています。

手術が安全に経過するよう、当院では常勤の麻酔科医が手術中の患者さんの呼吸や脈拍、体温の変動などを常に観察しています。執刀医が手術に専念できるだけでなく、適切な麻酔管理や疼痛管理を行うことで、患者さんのスムーズな回復へとつなげていきます。



眼科

手術実績 (2015年)



眼科の医師体制



5人体制

人生における 視力の重要性を知っているからこそ 失明する患者さんをなくしたい

多いのは高齢患者さんの 白内障手術

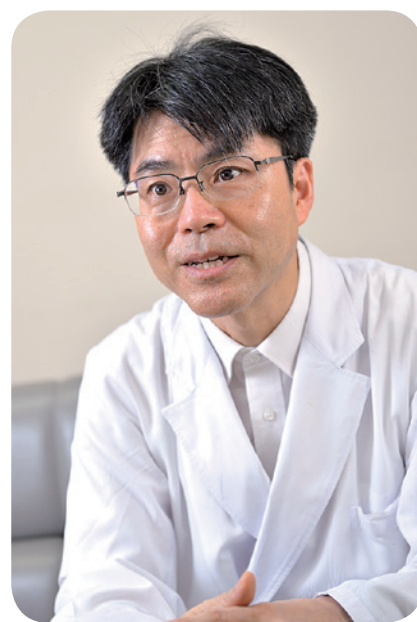
眼科は4人の専門医がおり、2人体制で手術を行います。最も多い白内障手術は昨年594件を数えました。手術は局所麻酔下で行われ、濁った水晶体の内部を吸引し、新たに眼内レンズを挿入します。

加齢や糖尿病などが原因となって水晶体が高齢者が多く、問題です。進行すると別の病気を引き起こしたり手術が危険になるため、早期発見・早期治療が必要です。認知症やパニック障害などの患者さんに対しては、ご本人やご家族と相談し、全身麻酔下で安全に手術を行います。

早期発見のための

啓発活動を継続しています

糖尿病網膜症や緑内障は進行するまで気が



眼科 科長
土屋 芳治 (つちや よしはる)

1988年 旭川医科大学卒

がつかないことが多いので検診が大切です。厚賀、黒松内、神威の診療所へは眼科医が年に1度出張健診しています。糖尿病網膜症の経過観察や網膜剥離、白内障や緑内障などの早期発見が目的です。当院内科でも問診に患者さんの見え方を聞く項目があります。治療を受けないまま視力を失うことがないように、他科と連携しながら早期発見・早期治療を目指しています。

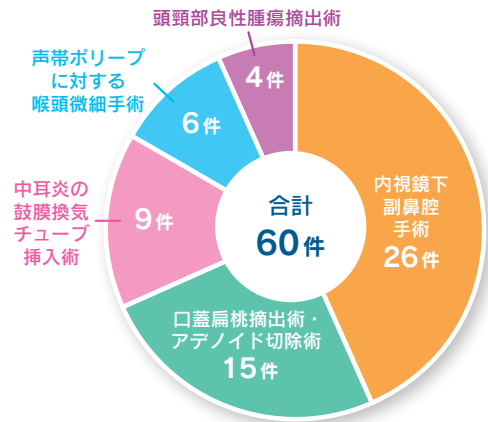
視機能を最大限に生かす ロービジョンケア

さまざまな病気やけがで、視機能(視野や視力)の障害が残ってしまうことがあります。

その場合、残された視機能を最大限に活用するためのさまざまな手段があります。その支援をする診療(ロービジョンケア)を行っています。

耳鼻咽喉科

手術実績 (2015年)



耳・鼻・喉の手術は 麻酔の工夫や機器の開発で 進歩しています



小児から高齢者に 痛みや負担が少ない手術を実施

耳鼻咽喉科領域のさまざまな日常病の手術を行っています。
アレルギー性鼻炎に対しては局所麻酔下のレーザー焼灼術しやうくわくを施行しています。
内視鏡下慢性副鼻腔炎手術や良性腫瘍摘出術は、全身麻酔下で施行します。
難治性中耳炎や再発性中耳炎、滲出性中耳炎に有効な鼓膜換気チューブ留置術は、大人に対しては局所麻酔で、小児に対しては全身麻酔で行っています。ほかにもアデノイド切除術や扁桃腺摘出術など、小児に多い手術を安全に全身麻酔で行える体制があります。
また、高齢者の摂食嚥下障害せつじくえんげの専門的評価を行うほか、嚥下機能改善手術や誤嚥防止手術などの手術的な治療にも積極的に取り組んでいます。



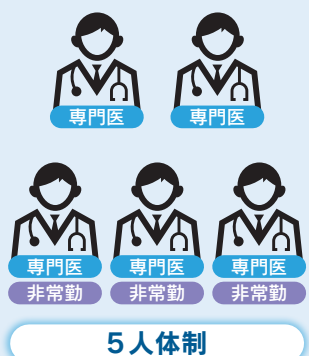
耳鼻咽喉科 科長
永沼 久夫 (ながめ ひさお)

1987年 山梨医科大学卒
日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本睡眠学会認定医
日本医師会認定産業医
めまい平衡学会認定相談医
日本頭痛学会会員

外来では 睡眠障害や頭痛への対応も

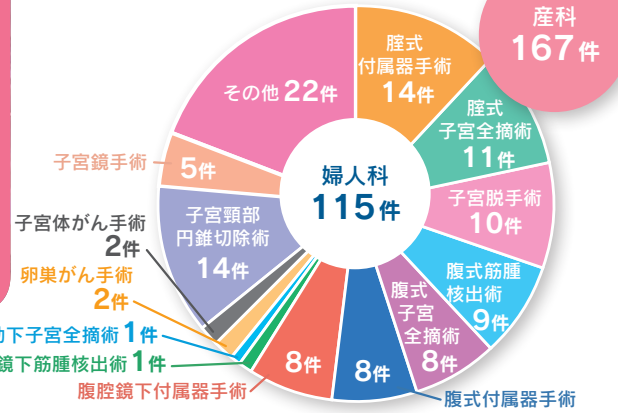
耳鼻科外来では一般的な耳鼻科疾患のほかに、嚥下障害への対応、睡眠時無呼吸症候群などの睡眠障害、頭痛、耳鳴りやドライマウスへの対応も行っています。各症状でお困りの方は一度外来でご相談ください。
また、補聴器の装用に関する相談にも応じています。

耳鼻咽喉科の医師体制



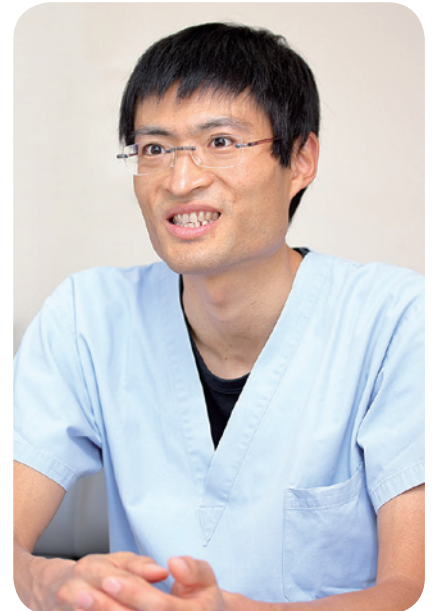
産婦人科

手術実績 (2015年)



患者さんの希望を重視し
十分に相談しながら
最も適した治療法を提案・提供

お腹に傷が残らない手術に
力を入れています



産婦人科 医長
西岡 利泰 (にしおか としやす)

2006年 北海道大学医学部卒
日本産科婦人科学会専門医
日本内科学会認定医
新生児蘇生法「専門」コース認定者
女性のヘルスケアアドバイザー
母体保護法指定医

多くの良性疾患での子宮全摘、および卵巣腫瘍摘出については、腔式手術が可能です。腔からの操作のみで手術が終わり、お腹には一切傷が付きません。痛みが軽い、回復が早い、という特徴があり、術後3〜5日で退院可能です。特に卵巣腫瘍は良い適応で、手術を迷っている方には、ぜひ一度相談してほしいと考えています。

腔式以外にも、腹腔鏡手術、腹式手術、子宮鏡手術、悪性腫瘍手術に取り組んでおり、患者さんに最も適した術式を選択しています。

子宮脱 (骨盤臓器脱) の
優れた術式を導入

骨盤の底が緩んで子宮などが腔から出てくる子宮脱は、多くの女性が直面している

問題です。ペッサリーリングなどで十分に治療できない場合、手術が必要です。当院では患者さん自身の組織を生かす「恥頸筋膜巻き出し法」で手術しています。腔の左右奥にある分厚くて弾力のある正常な筋膜組織を引き出して縫い合わせることで丈夫な骨盤底を再建します。根治性に優れ、自身の組織のみを使うため異物特有のトラブルもないことが特徴です。

婦人科の病気には、手術で劇的に症状が良くなるものがあります。つらい症状がある方は、ぜひ一度外来で相談してください。

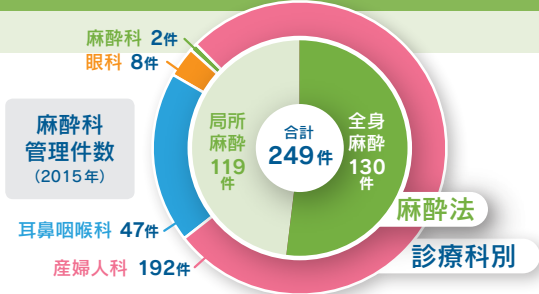
産婦人科の医師体制



5人体制

麻酔科医

術中の患者さんの
安全と安楽の確保が使命です



安全な手術には適切な麻酔管理が欠かせません。麻酔科医は麻酔に必要な設備を常に整え、手術の特性や患者さんの体質に配慮して適切な麻酔方法を計画します。全身麻酔、硬膜外・脊髄も膜下麻酔、ブロック・局所麻酔などを組み合わせながら、手術中の患者さんのそばで全身状態を観察します。

麻酔科医がいない病院も少なくありませんが、術中に緊急事態が発生したり、重篤な合併症が出現した場合は、麻酔科医による的確で迅速な処置が必要になることから、麻酔科医の有無が医療の質を左右すると言っても過言ではありません。

帝王切開術では、脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔と術後の硬膜外持続注入によって、つらい痛みを取り除き、離床や授乳を開始する時間を短縮させています。

当院の麻酔科が2015年に関わった手術件数は249件です。2015年の分娩件数393件のうち、帝王切開は105件で88件が麻酔科管理でした。34件が分娩停止や胎児徐脈などによる緊急手術です。赤ちゃんの命を救うために、手術室には「帝王切開手術用セット」を常備し、一刻を争う超緊急手術に対応する準備とチーム医療体制を整えています。

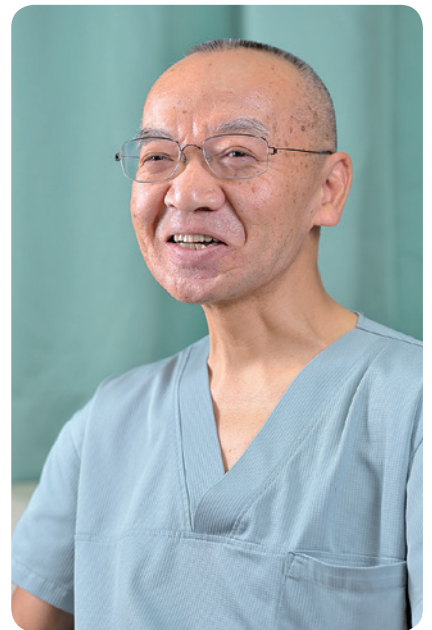
産科麻酔の豊富な経験で超緊急手術にも対応

麻酔科医の有無が医療の質を左右

産科麻酔の豊富な経験で超緊急手術にも対応

手術部長・麻酔科科長
林 泉 (はやしいずみ)

1979年 札幌医科大学卒
麻酔科専門医・指導医
新生児蘇生(NCPR)インストラクター
※2013年から公認の新生児蘇生(NCPR)講習会を開催。



常備されている帝王切開手術用セット

新生児蘇生への取り組み



当院の麻酔科で開催している公認の新生児蘇生(NCPR)講習会が、2016年8月までに20回を数えました。受講生は院内外の医師や助産婦、看護師など合計113人に達しています。当院の認定者は産科医と小児科医の8割、病棟助産師約20人のほぼ全員です。院内の周産期スタッフ向けに昼休み30分を利用した「NCPRリハビリ講習会」を定期的に実施し、「予測不能な新生児仮死に遭遇した際にも後遺症なく蘇生できるスキル」を維持できるように年1回以上の蘇生トレーニングを継続しています。

手術室

手術室看護師

安心して手術を受けていただけるよう
チーム医療を実践しています



看護師長
豊吉 睦子 (とよし ちかこ)



手術前の手術室見学も実施

手術看護を担当する5人の看護師のうち4人が20年以上の看護師経験を持つベテランです。手術の全体像をしっかりと把握しています。

手術は執刀医、麻酔科医、看護師などのチーム医療によって実施されており、手術の安全な実施のために各メンバーがお互いの役割を理解しながら連携しています。

手術の看護計画作成に患者さんやご家族も参加し、子どもや緊張感が強い患者さんには事前に手術室を見学してもらったりなど、個々に応じた看護ケアを行っています。

早期回復に配慮した 術前・術中・術後の看護

麻酔導入後に看護師3人で患者さんの体



タイムアウトと呼ばれる手術直前の確認作業

位を整えますが、これは手術中の同一体位によって出現する体の悪影響の軽減を目的としています。

器械出しを担当する看護師は、手術に必要な器械・器材を準備し、手術の進行に応じて執刀医にタイミング良く渡し、安全で円滑な手術展開をサポートします。外回りの看護師は手術中の環境調整や手術看護記録、異物の体内遺残防止のカウントなどを担当するだけでなく、手術前後に患者さんを訪問して不安軽減や状態の確認などを行います。

手術室の看護師全員が、患者さんの不安やつらさに共感し寄り添う看護を目指しています。

中央材料室

二重三重の 感染防止対策を実施

手術室（3室）や病棟、外来で使用された医療物品の洗浄、包装、滅菌、払い出し、保管などを行っています。

手術器械や処置器材などが安全に処理されるよう、各種インジケータを用いて滅菌の質を保っています。看護師長は第2種滅菌技士を取得しており、2人の専任スタッフと共に感染制御のレベルアップに取り組んでいます。

【中央材料室装置】

- 高圧蒸気滅菌器 2台
- EOGガス滅菌器 1台
- 超音波洗浄器 1台
- 乾燥機 2台





医療費でお困りの方はご相談ください

■ 無料・低額診療制度のご案内

経済的な理由で医療費の支払いが困難な方が、無料または低額な料金で治療を受けることができます。この事業は社会福祉法第2条第3項にある第二種社会福祉事業として、第69条第1項に基づく届出をして実施していますので、安心してご利用いただけます。

適応基準



- 生活困難者
- 低所得者
- ホームレス
- DV被害者
- 人身取引被害者
- 就学援助世帯

申請者の世帯収入、家族構成、家計状況などを基に判断します。申請者の世帯収入が、札幌市の生活保護基準額のおおむね101～140%以内の方が対象です。なお、小学生、中学生のお子さんが出て「就学援助」を受けている世帯は全員が対象となります。

モデルケース（年齢により適用となる収入が異なります）

世帯（例）	「無料」が適用となる収入	「低額」が適用となる収入
一人暮らし・家賃支払いあり 20～40歳	約13万9千円以下	約16万2千円以下
大人二人暮らし・持ち家あり 60～69歳	約14万7千円以下	約18万円以下
夫婦と子供の3人・持ち家あり 41～59歳	約19万7千円以下	約23万7千円以下

※上記は基準のおおまかな最低金額を表示したものです。まずは医療福祉課までご相談ください。

相談窓口

医療福祉課の医療ソーシャルワーカーがご相談に対応いたします。相談は個室で行い、プライバシーは厳守しますのでご安心ください。相談は無料で行っています。

申請の結果、適用とならない場合でも、費用の支払いや今後の生活について医療ソーシャルワーカーが支援を行います。まずはお気軽に、お電話でご相談ください。



医療福祉課

相談受付時間

月～金	9:00～12:30 / 13:30～17:00
土	9:00～12:30（第4土曜を除く）

TEL 011-811-2246（代表）



勤医協札幌病院

〒003-8510 札幌市白石区菊水4条1丁目9-22

☎011-811-2246 FAX 011-820-1245

E-mail satu-soumu@kin-ikyo.jp ホームページ <http://www.satsubyo.com/>

- 地下鉄東西線「菊水駅」
1番出口から徒歩3分
- 勤医協中央病院との連携バス運行

病床数105床

【診療科目】内科、外科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、労働衛生科、神経科・心療内科、麻酔科（林 泉）

【専門外来】心臓専門外来、腎臓専門外来、糖尿病・甲状腺専門外来、リウマチ専門外来、禁煙外来、高齢者外来、健康診断後外来、めまい外来、ロービジョン外来、更年期外来、母乳外来、療養外来、アスベスト外来、装具外来

【健康診断】特定健康診断、後期高齢者健康診断、各種がん検診、企業健康診断、人間ドック

【関連施設】勤医協菊水こども診療所（小児科）

基本理念

1. 赤ちゃんから高齢者まで、やさしい病院をめざします。
2. 安全・安心・納得の医療を実践します。
3. 憲法を守り、安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

基本方針

- 地域に根ざし、保健予防から在宅医療まで、無差別・平等の医療を実践します。
- 地域の中で、医療機関や事業所・施設との連携を強め、患者さんに信頼される良質で安全、安心できる医療を提供します。
- お互いに学び、成長し合える職場、病院づくりに努力します。
- 患者さんの立場に立ち、民主的な集団医療を実践できる医療人の養成をめざします。
- 安心して暮らせる地域をめざし、憲法と平和、環境を守る取り組みをすすめます。